

2013-B					
拠出金・基金の名称:		アジア欧州財団			
種 別		イヤーマーク ノン・イヤーマーク			
【拠出先の国際機関名】 アジア欧州財団(ASEF)					
【所管官庁担当局課・室名】 外務省欧州局アジア欧州協力室					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 ASEFは、その設立目的であるアジア・欧州間の相互理解促進のため、知的交流、文化交流、人物交流等の分野で様々な事業を実施している。平成25年は、ASEFが主催する各種事業のうち、我が国拠出金を用いてアジア・欧州ジャーナリスト会議の開催経費の一部を支援した。同会議では、アジアと欧州のジャーナリストや専門家によって持続可能な開発に係る課題やポスト2015開発目標等に関して議論が行われた。					
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千星ドル)	外貨2 (千米ドル)	レ ー ト	ODA率(%)
平成25年度	1,885	28.1	-	1星ドル = 67円	0
平成24年度	2,016	31.5	-	1星ドル = 64円	0
平成23年度	2,378	37.1	-	1星ドル = 64円	0
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 本件ジャーナリスト会議は、ASEM第11回外相会合の機会に開催されたものであるが、外相会合でも取り上げられたテーマをジャーナリストの視点から議論したことにより、広く一般市民やASEMに関係する人々、有識者の関心を集めたとともに、一般市民のASEMプロセス全体に対する関心を喚起することにも寄与した。また、アジアと欧州のジャーナリストと専門家の交流や相互理解が促進され、事業目的を達成したと評価している。					